

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1 室内騒音レベル				3.0				
2 設備騒音対策								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能				3.0				
2 界壁遮音性能				3.0				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0				
1.3 吸音				3.0				
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温				3.0				
2 負荷変動・追従制御性								
3 外皮性能				3.0				
4 ゾーン別制御性								
5 温度・湿度制御								
6 個別制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御				3.0				
2.3 空調方式				3.0				
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率				3.0				
2 方位別開口				3.0				
3 昼光利用設備				3.0				
3.2 グレア対策								
1 照明器具のグレア								
2 昼光制御				3.0				
3 映り込み対策								
3.3 照度				3.0				
3.4 照明制御				3.0				
4 空気環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質				3.0				
2 アスベスト対策								
3 ダニ・カビ等								
4 レジオネラ対策								
4.2 換気								
1 換気量				3.0				
2 自然換気性能				3.0				
3 取り入れ外気への配慮				3.0				
4 給気計画								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能					0.43			4.1
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	1.00			
1 広さ・収納性						3.0		
2 高度情報通信設備対応						3.0		
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観						3.0		
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性				3.6	0.52			3.6
2.1 耐震・免震				4.2	0.48			
1 耐震性	25%増耐震性			4.0	0.80			
2 免震・制振性能	基礎免震構造採用			5.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.33			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.23			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	換気ファンの分散配置	3.6	0.19	-	-	-
	2	給排水・衛生設備		4.0	0.20	-	-	-
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
	4	機械・配管支持方法	免震ビット内配管配線は免震上部構造に合わせ耐震Sクラスに設定	5.0	0.20	-	-	-
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
	3 対応性・更新性				4.7	0.48	-	-
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	階高5.9m以上	5.0	0.31	-	-	-
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 ((51 + 100) × 2 + 100)m / 5125㎡ = 0.08	5.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり			荷重 12,000N/㎡	5.0	0.31	3.0	-	-
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性		4.2	0.38	-	-	-
	2	給排水管の更新性	仕上げ無し倉庫、免震ビット利用配管	4.0	0.20	-	-	-
	3	電気配線の更新性	仕上げ無し倉庫、免震ビット利用配線	5.0	0.13	-	-	-
	4	通信配線の更新性	仕上げ無し倉庫、免震ビット利用配線	5.0	0.13	-	-	-
	5	設備機器の更新性	外部シャッター、荷物用大型エレベータ	5.0	0.27	-	-	-
	6	バックアップスペース		3.0	0.27	-	-	-
	Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57	-	-
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.2
1 建物の熱負荷抑制				-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用				4.5	0.29	-	-	4.5
2.1	自然エネルギーの直接利用			4.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用			5.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化				5.0	0.43	-	-	5.0
	集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)			5.0	-	-	-	-
	集合住宅の評価			3.0	-	-	-	-
4 効率的運用				3.0	0.29	-	-	3.0
4.1	モニタリング			3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制			3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護				3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水			4.0	0.40	-	-	-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.5	0.63	-	-	3.5
2.1	材料使用量の削減			3.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.21	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.21	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.25	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.0	0.22	-	-	4.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避			4.5	0.68	-	-	-
1	消火剤			4.0	0.50	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)			5.0	0.50	-	-	-
3	冷媒			-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮				4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮				3.5	0.33	-	-	3.5
2.1	大気汚染防止			5.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制			5.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1	騒音			3.0	1.00	-	-	-
2	振動			-	-	-	-	-
3	悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-
3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-